



2008年3月18日

各 位

会 社 名	株式会社ジーエヌアイ
代表者名	代表取締役社長兼C F O 鈴木 勘一郎 (コード番号:2160 東証マザーズ)
問合せ先	代表取締役社長兼C F O 鈴木 勘一郎 (TEL. 03-3580-0751)

中国における薬剤ターゲット探索に関する公的助成プロジェクト3つを終了

(株)ジーエヌアイは、本日、中国子会社の上海ジェノミクスが上海市政府から助成金を受けて実施していた3つのプロジェクトが終了したと発表しました。内容的には、抗線維症の効果を持つ物質に関する薬剤ターゲット探索研究と薬剤開発を支援するもので、それぞれ、1) 新規薬剤ターゲットRX53 と関連薬剤の開発、2) 肝線維症に対する新規医薬品の開発、および3) 薬剤ターゲットとしての候補遺伝子の探索と同定というテーマのもと、いずれも2005年に開始されました。各プロジェクトの成果は、上海の代表的な科学者から構成される科学審査委員会で検討された結果、承認されました。

上海市政府は、先端技術の開発を支援するために財団を設立しており、生命科学の分野は支援に力を入れる分野の一つになっています。過去5年間、上海ジェノミクスは国や地方行政の科学財団から複数の助成を受けており、統合的な創薬プラットフォームを構築するための重要な財源となっています。このような助成プロジェクトにより、中国内の様々な大学と共同研究を実施する機会を得ることができ、その成果は多数の論文や特許として発表されてきました。

当社の最高経営責任者ルオ・インは「このような助成金による補助は、バイオ産業の成長にとって上海の環境が非常に有利に働いていることを示しています。本助成プロジェクトは無事終了しましたが、アジアの患者さんのために新しい医薬品を開発することは、ジーエヌアイと上海ジェノミクスの設立当初からの使命です。これからもその実現に向け引き続き努力して参ります」と述べています。

ジーエヌアイについて

2001年設立の臨床段階にある医薬品開発企業で、活動拠点を日本と中国に有する。ジーエヌアイは、ヒト遺伝子ネットワークによる解析に成功、遺伝子ネットワーク技術を医薬品開発に応用しており、中国において臨床段階にある創薬候補物を複数パイプラインに持つ。2005年に中国上海ジェノミクスを傘下に収めたことにより、上海における研究および開発の拠点を構築した。両社の統合は、主要な世界的製薬会社との共同研究に結びついている。詳細は <http://www.gene-networks.com>, <http://www.shanghaienomics.com> をご覧ください。